

報道関係者及び教育関係者 各位

James Dyson Award 2019 募集開始

ダイソン創業者ジェームズ ダイソンは独創的な方法で社会課題の解決に挑む若者を支援します



ジェームズダイソン財団は、同財団が主催する国際エンジニアリングアワード、[James Dyson Award 2019](#)(以下 JDA)の募集を開始いたします。本アワードの課題は、「問題を解決するアイデア」で、エンジニアリング、デザインを学ぶ学生や卒業生にとって、世界を舞台に自らのアイデアを発表できる機会です。国際最優秀作品には賞金 30,000 ポンド(約 450 万円)¹が贈られます。経済産業省のご後援を開催 15 年目となる節目に頂き、Bsize 代表取締役であり JDA2006 入賞者、八木啓太氏を新たに国内審査員にお迎えいたします。

当財団はこれまで、人々の未来にインパクトを与える問題の解決に挑んできた次世代のデザインエンジニアを奨励してきました。問題解決をデザインする、革新的で起業家精神のある若者に挑戦してもらいたいと考えます。発明のアイデアは世界中どこにでもあります。より多くの若い発明家を JDA を通して支援したいと思っています。

ジェームズ ダイソンは次のように述べています。「若いエンジニアとデザイナーは未来への展望と自由な知性を持つからこそ、問題解決に長けているのです。彼らのアイデアは、簡単に受け入れられないこともあるかもしれませんが、育て、評価されれば、世の中を変革する力を持ち得ます。製品やテクノロジーの開発過程には時間と忍耐が必要です。James Dyson Awardは、そのような過程に挑戦しようとする若き エンジニアやデザイナーを高く評価します。この賞の目的は次世代の発明家たちを支援し、将来の成功に向けてその背中を押すことです。今年はどのような驚くべきアイデアに出会えるのか心待ちにしています。」

最高の発明は多くの場合、シンプルでありながら現実世界の問題をスマートな解決策へと導きます。過去受賞者が取り組んできたのは、食料廃棄、水質汚染、発展途上国における医療課題、持続可能性といった様々な領域における問題です。JDA2018の国際最優秀作品 [O-wind Turbine](#) は都市部で予測不能に吹く風を有効活用とする風力タービンで、持続可能な再生エネルギー分野に挑戦しました。国内最優秀賞は赤ちゃんの脱水状態を検知し、水分補給と保護者の取るべき行動のサポートを目的としたデバイス [YourPacifier](#) が受賞しました。

JDAを受賞した若き発明家たちは、それをきっかけの1つに、投資などの機会を得てキャリアを加速させています。過去の受賞者で伸縮自在な子ども服 [Petit Pli](#) や、生体反応性の食品ラベル [Mimica](#) の開発者は起業し、事業の成長に全力を尽くしています。国内では、JDA2015国際TOP20受賞 [学習機能搭載・排泄検知シート](#)、JDA2016国内第3位受賞 [OTON GLASS](#)、JDA 2017国際TOP20受賞 [Cuboard](#) などの開発者が社会実装に向けて着実な歩みを進めています。

<本件に関するお問い合わせ>

一般財団法人 ジェームズダイソン財団 近藤彩子

Tel: 03-3238-8898 HP: jamesdysonaward.org/ja/

Email: JamesDysonFoundationJapan@dyson.com

James Dyson Award 2019 開催概要

募集課題： 問題解決のアイデア

応募締切： 2019年7月11日(木)²

対象国： オーストラリア、オーストリア、ベルギー、カナダ、中国、フランス、ドイツ、香港、インド、アイルランド、イタリア、日本、マレーシア、メキシコ、オランダ、ニュージーランド、フィリピン、ロシア、シンガポール、韓国、台湾、スペイン、スウェーデン、スイス、英国、アラブ首長国連邦、米国(ABC順)の計27の国と地域

応募対象： 18歳以上のデザイン、エンジニアリング(工学)、プロダクトデザイン、工業デザインを専攻する学生(専門学校、高等専門学校、短期大学、大学、大学院)や卒業・修了して4年以内の方

応募方法： [JDA ホームページ](#) にてユーザー登録後、必要提出物を所定フォーマットに入力して応募
賞金：

国際審査		国内審査	
国際最優秀賞 1作品	国際準優秀賞 2作品	国内最優秀賞 1作品	国内準優秀賞 各国最大2作品
賞金 30,000 ポンド(約 450 万円) ¹ 在籍・卒業の学部・専攻に 寄附金 5,000 ポンド(約 75 万円) ¹	賞金 5,000 ポンド (約 75 万円) ¹	賞金 2,000 ポンド (約 30 万円) ¹	-

審査のプロセス： 国内審査員が各対象国より、次なる審査へ進む最大3作品を選出します。その中の1作品が、国内最優秀賞として発表され、賞金が贈られます。国際審査となる第2審査では、ダイソンのエンジニアが、第1審査通過作品を審査し、国際TOP20を選出します。最終審査では、ジェームズダイソン自身が国際TOP20作品から国際最優秀賞1作品及び準優秀賞2作品を選出します。

審査基準：

1.問題を解決する 2.開発のプロセスが描けている 3.持続可能で現実的なアイデア 4.製品化への実現性

主催： ジェームズダイソン財団、 後援： 経済産業省³

JDA2019国内審査員

緒方 寿人氏

デザインエンジニア/Takram ディレクター

ソフトウェア、ハードウェア問わず、デザイン、エンジニアリング、アート、サイエンスまで領域横断的な活動を行うデザインエンジニア。東京大学工学部を卒業後、情報科学芸術大学院大学(IAMAS)、リーディング・エッジ・デザインを経て、ディレクターとしてTakramに参加。



川上 典李子氏

デザインジャーナリスト

AXIS編集部を経て1994年に独立、企業やデザイナーの取材、執筆を行う。国際交流基金主催の展覧会の共同キュレーションにも関わり、「London Design Biennale 2016」日本公式展示キュレトリアル・アドバイザーを務める。

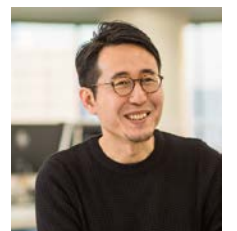
21_21 DESIGN SIGHT アソシエイトディレクター。桑沢デザイン研究所非常勤講師など



八木 啓太氏

デザインエンジニア/Bsize(ビーサイズ株式会社)代表取締役

2011年家電ベンチャー・ビーサイズを創業。NHK連続テレビ小説「半分、青い。」では「ひとりメーカー」の考証を行う。現在はAI・IoT技術を活かしたみまもりロボットGPS BoTの展開に注力し、世の中に革新を起こすべく挑んでいる。JDA2006入賞経験を持つ。



¹ 参考金額：1ポンド=150円 受賞発表時の為替相場に応じて換算予定

² 日本時間締切：7月12日(金)午前8時59分

³ 日本開催に限る